

窓辺

おだぎともこ
小田木朝子

ハード60点でも
行動できる女性に

女性がもっと両立しやすく、もっと就職しやすくするには、何が必要でしょうか。子どもの預け先、働きやすい職場と両立支援制度、再就職のための機会提供（研修や面接会）、夫の協力、理解ある上司や同僚、両親のサポート、たくさんあります。どれも必要ですし、とても大切です。

他に必要なものが見えてきませんか？ そう、「女性自身の気持ち（ソフト）支援」です。

ここで、こんな視点を加えてみてください。上記のような本人を取り巻く要素を「環境や機会（ハード）支援」とします。そうすると、

両立も再就職も、さらに子育ても、支援というとハード支援に目が向きがちですが、ソフト支援も同じくらい重要です。仮にハードが完璧にそろわずとも、自発的に行動し、困難を乗り越えられる女性を増やすのが、ソフト支援です。

ここで、こんな視点を加えてみてください。上記のような本人を取り巻く要素を「環境や機会（ハード）支援」とします。そうすると、

気持ちに働きかけ、働くことへの肯定感や自分の子育てへの満足度を高め、ポ

ジティブな思考を習慣にし両立不安を解消することが必要なのです。例えば、夫も両親も協力的で、制度が充実した職場にいながら仕事に悩む女性もいれば、人から見ると「よくやるね」という環境でもいきいきと仕事をする女性もいるのです。

今の社会、ハード支援が100点満点になるにはもう少し時間がかかりそうです。待っていたら、いつまでも踏み出せないし、楽しく生きられないと思うのです。ハードが完璧じゃなくても、気持ちを前に向けることで、ハード支援がたとえ60点でも行動できる女性を増やしませんか。

（育勉普及協会理事）